

学部 / 看護専門領域 / 看護の実践  
科目コード:130043

## 公衆衛生看護学実習 Practicum: Community Health Nursing

担当教員	室野奈緒子、米澤洋美、塚田久恵、嶋雅奈恵、中敷えりか												
実務経験	地方自治体等勤務経験のある教員が担当している。												
開講年次	4年次前期	単位数			4	授業形態			実習				
必修・選択	必修	時間数			180								
該当ディプロマ・ポリシー	(1)	(2)	(3)	○	(4)	◎	(5)	(6)					
Keywords	保健所、市町村保健事業、産業看護活動、保健師、ヘルスプロモーション												
学習目的・目標	<p>公衆衛生看護学実習では、地域で生活する住民の方々および労働者の健康とQOLの向上のために、対象者や家族、対象集団や対象地域が、セルフケア能力を高め、健康的な環境や諸制度を整え、最適な健康状態で生活ができるように支援していく能力を養う。</p> <p><b>A.行政看護実習</b> 【目的】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 実習地域の健康課題を把握し、その地域で暮らす人々の生活の実態や地域社会環境との関連を理解すると共に、健康課題の解決のために、どのような保健計画が作成、実施、評価されているか理解する。</li><li>2. 地域の健康課題やその解決のための保健計画と、保健師が担う様々な事業との関連を理解し、住民の健康を支援する保健施策と保健師が果たす役割について考察を深める。</li><li>3. 対象地域や対象集団、対象者の健康の保持・増進を支援するために必要な知識・技術を習得し、看護専門職として住民の健康の増進に寄与できる能力の基礎を養う。</li></ol> <p>【目標】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 保健師活動の基盤となる地域のニーズを把握する一連の過程を、実習地域のアセスメントを通して、地域の健康課題と保健事業の関連を理解する。</li><li>2. 保健所・市町村における地域看護活動に参加することにより、人々の健康を守る地域保健システムの現状や、公衆衛生の理念に基づく公衆衛生看護の役割について理解を深め、地域における看護サービスの提供方法を理解する。</li><li>3. 家族を単位とし、対象の家庭や地域社会生活の場において提供される、看護サービスの特徴について理解を深める。</li><li>4. 集団及び地域社会のセルフケア能力の向上を目指した看護の展開ができる。</li><li>5. 看護職としての専門性において、対象者・対象集団の健康に貢献できる看護観の発展と行動規範の向上を目指す。</li></ol> <p><b>B.産業保健実習</b> 【目的】</p> <p>産業保健における看護活動の実際を理解し、健全な職業生活を支える労働衛生管理のあり方と産業保健看護職の役割について考える力を養う。</p> <p>【目標】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 産業保健における看護活動を支える安全衛生管理体制の実際を理解できる。</li><li>2. 就労者の健康課題を労働と職場環境の特性と関連づけて理解できる。</li><li>3. 産業保健活動の実際と産業保健看護職の役割を理解できる。</li><li>4. 産業保健活動における関連機関の役割と連携について理解できる。</li></ol> <p><b>C.公衆衛生看護学実習の統合</b> 【目標】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 行政看護実習および産業保健実習での学びをもとに、ライフステージの全過程を通して、人々の健康の保持増進に寄与する保健師の役割とその意義について考察を深める。</li><li>2. 行政看護実習および産業保健実習での学びをもとに、ライフステージの全過程にわたり健康の保持増進を支援し、ならびに人々がその人らしく生きる資源としての健康を護り保障するケアシステムの実際とその意義、さらに今後の課題について考察を深める。</li></ol>												

### 授業計画・内容

公衆衛生看護学実習は、A. 行政看護実習、B. 産業保健実習の二つの臨地実習を行ない、まとめとして、C. 公衆衛生看護学実習の統合を行なう。

#### A. 行政看護実習

1. 県内の保健福祉センターおよびその管内市町において実習を行う。
2. 臨地実習は、保健所実習(2日)、市町実習(7日)で構成し、以下の内容について学習を深める。
3. 実習内容
  - 1)【保健所実習】保健所の組織と成り立ち、保健所の機能と役割、保健所保健師の役割と責任について理解する。
  - 2)【市町実習】
    - (1) 市町の保健師の担当ごと(地区担当・業務担当等)の役割と責任を理解する。
    - (2) 地域の健康課題、地域住民の健康ニーズと行政の保健事業とのつながりを理解する。
  - 3) 上記、1)、2)の実習を通して、以下の学びを深める。
    - (1) 実習地域のアセスメントを行い、地域の特性や健康課題を把握し、保健事業との関連や人々の健康と生活を守る仕組みについて理解する。
    - (2) 個人・家族・集団・地域を対象とし、対象の価値観やセルフケア能力に応じた援助の特徴を理解するとともに、対象者のセルフケア能力の向上を目指した看護を展開できる能力を身につける。
    - (3) 地域の健康課題に対応するために行われている保健医療介護福祉の連携や協働活動、住民とともに行うヘルスプロモーション活動の意義を理解し、地域で働く看護職としての役割について、考察を深める。

#### B. 産業保健実習

1. 石川県内の会社・事業所などにおいて実習を行う。
2. 臨地実習は、2日で構成し、以下の内容について学習を深める。
3. 実習内容
  - 1) 労働衛生チームや事業所固有の保健組織・機構について理解する。
  - 2) 労働安全衛生法に基づく衛生管理の実際を理解する。
  - 3) 事業所における健康診断と事後措置の実際を知り、看護職の役割を理解する。
  - 4) 事業所における健康保持増進事業(THP)について学ぶ。
  - 5) 事業所におけるメンタルヘルスに関する相談・保健指導の実際を理解する。
  - 6) 実習事業所に特有な健康問題とその対策について学ぶ。
  - 7) 産業保健における保健師活動の実際を理解し、その役割について考察を深める。

<p>C. 公衆衛生看護学実習の統合</p> <p>1. グループワーク(班別実習最終日)</p> <p>行政看護実習および産業保健実習で体験もしくは見聞きした事業内容をグループ内で共有し、それらが人々のライフステージにおいてどこに位置付けられるか話合う。また、ライフステージの全過程において、それらの事業等が互いにどのように関係しているか考える。</p> <p>2. 課題レポート:行政看護実習および産業保健実習での学びをもとに、学習目標を踏まえたうえで作成する。</p>	
教科書	公衆衛生看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ演習・Ⅳ・Ⅴ演習で使用した教科書や配付資料、提示された参考書などを有効に活用する。さらに必要な図書や資料などは、実習前に別途提示をする。
参考図書等	参考図書・関連文献は実習開始前及び適宜紹介する。
評価指標	実習目標の達成状況35%、実習態度(学習に対する積極性や努力の状況、学習グループにおけるメンバーシップ、リーダーシップの状況など)35%、学内学習の状況(事前課題学習状況、学内実習、事後学習の成果状況)15%、公衆衛生看護学実習の課題レポート15%
関連科目	公衆衛生学、地域看護学概論、疫学、保健統計学、保健医療福祉論、公衆衛生看護方法論Ⅰ、公衆衛生看護方法論Ⅱ、公衆衛生看護方法論Ⅲ演習、公衆衛生看護方法論Ⅳ、公衆衛生看護方法論Ⅴ演習、コミュニティ政策論
教員から学生へのメッセージ	常に実習目的・目標を意識しながら、これまでの学内における学習内容や広い視野と柔軟な発想や思考を生かし、自主的、自発的、かつ積極的姿勢で実習に臨んで下さい。実習が長期間に渡るので自身の健康管理には十分に注意して下さい。